

救援隊の歴史を学ぶ会

コロナ禍によって、私たち救援隊も活動の停止や縮小を余儀なくされ、これまで続けてきた地域との交流も減少してしまいました。現在は活動が復活しつつありますが、その中で、活動の先にある社会的な意義を感じ取るということが難しくなってきました。今回の「救援隊の歴史を学ぶ会」は、これまでの救援隊の歴史を振り返ることで、救援隊の現在の活動は、阪神淡路大震災がルーツであるということを再度確認し、現在行っている活動の社会的な意義をメンバーたちに学んでもらおうという目的で行われました。

実際の活動では、救援隊OBの藤室玲治さんから、これまでの救援隊の歴史と現在の活動のルーツ、さらに、藤室さんの思う救援隊が地域に関わる意義についてお話し頂きました。講演のあとは、学生同士でグループに分かれて、感じたことや日頃活動で考えていることについての意見交換を行いました。

参加したメンバーたちは、「今年度の活動の原点を思い起こすことができました」などの感想を述べ、活動の中での社会的な視点とより高いモチベーションを得ることができました。また、意見交換を通して、今後の活動をより良くしていくための具体的なヒントも得ることができました。救援隊としては今後も、積極的に地域との関わり合いを続けながら、今回のように、OB OGの方々や地域の方々からお話を伺う機会も設けていきたいと考えています。



ぼうさいこくたい2022への出展

「救援隊の歴史を学ぶ会」において学んだ救援隊のこれまでの歴史をメンバーがより深く理解し、また、それを他の様々な団体にも広く発信することによって、活動の契機を広げていきたいと思い、2022年10月にHAT神戸で行われた「ぼうさいこくたい2022」にブースを出展しました。

私たち救援隊は「学ぶ会」での内容や資料をもとに、救援隊の歴史や活動の意義、さらに、関連する団体の方からの活動に対する評価を頂いたものを展示しました。

ブースに来ていただいた方からは、救援隊のこれまでの活動に対して、好意的な評価をして頂くことができました。それを聞いて、私たちメンバーも救援隊が社会に良い影響を与えてきたということを実感でき、今後もより良い影響を与えていきたいと感じることができました。また、他団体の方との交流を通し、新たな興味や活動のヒントを得ることができました。



上野政志さん講演会

救援隊に所属するメンバーは、皆阪神淡路大震災を経験していないメンバーであり、被災当事者の気持ちを想像しにくい立場でもあります。そのようなメンバーにも被災者への思いを馳せてほしいと思い、上野さんの講演会を行いました。

上野政志さんは、震災で娘さんを亡くされています。上野さんから、当時の状況や娘さんへの思い、命の大切さなどについてご講演いただきました。講演には一般の方も参加し、テレビ等でも取り上げられました。

参加したメンバーにとって、被災した方々の心境を深く想像する機会となりました。上野さんとの相談次第ではありますが、来年度も継続して講演を行っていききたいと考えています。

